

主婦が子供をさらわれ、巨大ロボで助けに行く話。

無敵ママ ゴルビウス

「ゴライガー」の時代シリーズ。

80年代なうけあみだけ
今は2016 タイトルになるなら
それはもうとてつもない
タイトルになるんじゃない
かなって。

作・KKKY

○宇宙、アステロイドベルト

隕石群の中を、銀色の宇宙船が
高速で飛んでいく。

ドレイス(40?)「ようやくたどり着いた

ぞ。あれが地球か」

宇宙船、地球に降りていく。その後を
追う一筋の光。

○地球、団地、アパートの一室、昼

リビングでテレビを観てはしゃぐ秀人

(5)と健一(32)。

秀人「必いつ殺う・・・」

健一、秀人「ファイナルソード、クラアアッ
シュ！」

二人はロボットアニメを観ながら、テ
レビのロボに合わせて必殺技を叫ぶ。

健一「秀人、ゴルビウスはやっぱりかつこ
いいよなあ！」

秀人「うん！」

はしゃぐ二人。そこへ襖をガラリと開
けて佳奈子(30)が入ってくる。

佳奈子「ちよつと二人共！いい加減にして！
ご飯冷めちゃうでしょ！ほんととも、毎日
毎日アニメばっか観て・・・！」

ズカズカとテレビの前に歩いていき、
電源を切る佳奈子。

佳奈子「早く来なさい！」

ぴしゃりと襖を閉めて出て行く。
秀人と健一、黙ってお互いを見る。

シリーズだとすると

ここは火事？木造建物の火災被害が

だといふことになろうか。

どういうリアリティーが描かれていようか。

これはコメディだといふことが分かる。

だがその後コメディ展開か

全くそんなことはなさそうに見える。

↑

リゼンガで

たんとおもしろいのが

観てないで示している。

「085の巻下がり」

とて素晴らしい。

この必殺技に
ラストのキメに必死な秀人を
はびくたててみくときよい
終は必死な...だがファイナルソード
クウシユをみれば...という展開に

何時のどこかで
何時にOAされたの？
コメディなうティートでもいいが
どうやら普通の話らしい。
このへんで既に不信任がつのりかけた。

健一「…メシ、行こうか…。」

黙って頷く秀人。

○同、食卓

三人は無言でご飯を食べている。ちらちらと佳奈子の方を見ながらご飯を食べる秀人。

秀人「…」

佳奈子、秀人に見られているのに気づいている。少しイライラしながら

佳奈子「何？秀人（ご飯を食べつつ）」

秀人「ママ、やだ…。」

佳奈子、箸を止め秀人を睨む。

佳奈子「秀人がママの言うこと聞かないからでしょ。」

秀人「じゃあママも秀人の言うこと聞いてよ！」

二人の争いが始まり、おっかなびつくりの健一。

佳奈子「何を！？言ってみなさい！」

秀人「ママと一緒にゴルビウス観たい！」

佳奈子「ゴルビウスってさっきのアニメ？」

秀人「…うん。」

うつむく秀人。佳奈子、少し見つめる。

佳奈子「…わかった、また今度ね。」

秀人「ほんと！？じゃあね、じゃあね、ファイナルソードクラッシュもやってね！」

箸で必殺技の真似をする秀人。

佳奈子「ふぁ、ファイナル？？？何？」

秀人「こうだよ！ファイナルソオオド……」

クラアアッシュツ！」

箸を振り回す秀人。佳奈子、恥ずかし
がって適当に真似する。

秀人 「ママ、ちゃんとやってよ。」

息子に怒られる佳奈子を見て健一笑い
をこらえている。佳奈子それに気付き
バツの悪そうに生返事。

佳奈子 「はいはい、また今度また今度。」

○川原の土手の上、朝

佳奈子、秀人の手を持って小走りして
いる。秀人、佳奈子に掴まれながらゴ
ルビウスのおもちやを大事そうに持っ
ている。

佳奈子 「早く行かないとバス来ちゃうよ。」

秀人 「わかつてるよー。」

そこへ上空から光が降り注ぐ。

佳奈子と秀人、思わず目を瞑る。

佳奈子が目を開けると赤い鎧のような
ものを着た宇宙人（ドレイス）が、秀
人の腕を掴んでいる。そのままゆっく
りと振り返り、立ち去ろうとする。

佳奈子 「えっ…ちよ、ちよっと！」

思わず追いかけて、ドレイスの肩を掴む

佳奈子。が、次の瞬間、ドレイスの隠

しナイフが佳奈子の胸を貫く。

秀人 「あ…。」

血を吐いて倒れる佳奈子。

秀人 「ママ！ママあーっ！」

叫びながら泣いてしまう秀人。

↑ここにファイナルソードの
解法が出来る。

たとえは

「ダメだよ！ファイナルソードの
は、乗っ手の意思の強さに

決するんだ。ママの心は弱い

で解かないよー。」

とガナナに解法をせよとか。

「ファイナルソードの強さ、ううう」

「ダメダメ。それなら強さの

強さ、やってるでしょ？」

「たっ、アニメでしょ？」

「オカ人にもって」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

「ふふふにしてみれば」

ドレイス、秀人と共に上空へと消える。すると宙に隠れていた宇宙船が現れて、遙か彼方へと飛び去っていく。空から秀人が持っていたロボットのおもちやが落ちてくる。

佳奈子「う…っ、しゅ、秀…と…。」

地面を這いずりながらおもちゃを手にするものの、そこで力尽きる佳奈子。その時、上空から10センチくらいの光の玉が降りてくる。玉は佳奈子の周りを様子を伺うようにふわふわした後、佳奈子の体に入っていく。

○佳奈子の精神世界

佳奈子の幽体？が、地面に倒れている

佳奈子を見ている。

佳奈子「あれ…私？死んでいるの？」

光の玉「そうです。」

佳奈子の目の前に光の玉が出現する。

驚く佳奈子。

光の玉「私はロラン。宇宙警察です。貴女たち地球人から見れば宇宙人…ですね。先程貴女を殺した宇宙犯罪者、ドレイスを追って地球にやってきました。」

佳奈子「警察？なら、うちの子がさらわれちゃったんです！助けてください！」
ロラン「ご迷惑をかけてしまい、申し訳ないと思っています。私がやつを逃したせいではないです。」

このまじにドレイスと秀人がない
感じだ。ふんわりこの人好きじゃ
ないんや。ううんや。
流るやと気持ち悪い。な、な、な、な、な、な、
ディテールは本こそだ。

佳奈子「謝ってすむならあんなたちいらないでしょ！それより秀人を助けなきゃ！」

ロラン「お詫びと言ってはなんですが…私も協力しましょう。私のイメージデバイスを
使用すればご子息を助けられるかもしれません。」

佳奈子「ほんと？ありがとう。でも、どうやって？そもそもあの赤いヤツは何処に行ったの？あ、それよりも…私あいつにやられて死んじゃったんだっけ…。」

足元で倒れている自分の死体を見る佳奈子。

ロラン「貴女が手に持っているその兵器を貸していただけますか？」

佳奈子「兵器？」

ロラン「はい、これです。」

ロラン、倒れている佳奈子が持っているロボットのおもちゃの近くへ移動。

佳奈子「え？それ？それおもちゃだよ？」

ロラン「問題ありません。この兵器にはご子息の強い思念が込められている。それと貴女の魂をコアにしてイメージデバイスを起動させます。そうすれば二つの思念がエーテルにより融合しその出力は数倍に…。」

佳奈子「よくわかんないけど秀人を助けられるのね？」

佳奈子、ロランに詰め寄る。

ロラン「保証はできませんが…、しかし私としてもドレイスをこのまま放っておくわけにはいきません。」

ロラン、佳奈子の周囲を周りつつ、

生きて返る条件について
示されているみたいで、
自分の死はいいけどもいいかなと
思っているか。
やっぱり生きて返るのかな！
と作者を悩まして、ふくらむ。

ロラン「ご子息とドレイスの元へ向かいま
しょう。」

佳奈子「なんでもいいから早くして！そのお
もちやが必要なら貸してあげるから！」

ロラン「了解しました。では、貴女をコアに
イメージデバイスを起動させます。」

ロラン、強い光を放つ。包まれる佳奈
子。目覚めるとおもちゃが巨大ロボに
なっている。佳奈子そのコクピットに
座っている。驚く佳奈子。

佳奈子「え、すごい。これがそのイメージな
んとかの力？」

ロラン「ええ、思念を実態化させる。特に貴
女方、地球人の思念は強力です。なのでド
レイスは地球人を昔から狙っていたので
す。」

佳奈子「だから秀人を？うちの子は電池じゃ
ない！絶対取り返してやる！」

佳奈子、意気込むが、ふと気付いて
佳奈子「ところで、これどうやって動かす
の？」

ロラン「音声入力式とレバー入力式がありま
す。それぞれの入力方法で異なる動作を
…。」

佳奈子「(遮って) 音声入力？…はかえって
面倒くさそうだから、レバー入力でお願い。」
ロラン「了解しました。中央パネルの右ス
イッチを押してください。」

佳奈子ボタンを押すと、シートからレ
バーが出てくる。

ロラン「レバーを握り、行動をイメージして

「なんの力？12t
な、ないないの？」
カット

「ドレイスか」
「アンチテーゼ、すなわち逆の意思」
「想像力がないこと」を
「ドレイスがぼろい」6
「決定打では反力がない」

「イメージが来た」
「今度はお茶がこわい」
「さうか、まんじゅうの皮にあぶるも
んならいいか」
「さうさよ！お茶がみたいって
いうんねえでしょー」
「さ…？…んかーん」
「それぐらい想像できんの？」
「みたいにくるぐも」
「想像力があってもいいこと」を
「ドレイスは強みさよ」

レバーのボタンを押してください。」

佳奈子、言われた通りにする。ゴルビウスがギギギと動く。

佳奈子「あいつを追いかけて！」

ゴルビウス、宇宙へ飛んでいく。

○宇宙、ドレイス宇宙船内、ブリッジ

秀人、気絶したままカプセルのようなものに入られている。体にはケーブルが繋がれ、色んな装置と繋がっている。

みんがマトリックスのいいえ
228からイェーザでマキ

ドレイス「(不敵に笑いながら) とうとう地球人をコアに出来たぞ。これで俺に敵うやつはいない。待っているよ連合のゴミどもめ！」

○宇宙、ゴルビウスコックピット

佳奈子「そういえばあいつ、地球人をさらって何をするつもりなの？」

ロラン「恐らく我々への復讐でしょう。」

佳奈子「復讐？何かしたの？」

ロラン「ヤツは昔、イメージデバイスが完成した時、その力で全宇宙連合を服従させようとしたのです。我々はその思想を危険とみなし、彼を追放しました。それをいつまでも根に持っているのです。」

佳奈子「…。」

ロラン「どうしました？」

佳奈子「力づくで…服従か…。」

これはアンチテーゼ？

たつとろと 初々228時

秀人とも交渉するときに

「力づくで」服従させるようにし

たつとろと 初々228時

随分タイフなってるもっての他

○宇宙、月の近く。

ゴルビウス、ドレイスに追いつく。

佳奈子「見つけた！あれね！」

ドレイス「追いつかれたか？！」

佳奈子「ちよっと！秀人を返しなさい！」

ドレイス「それは出来ない相談だ地球人。」

ドレイスの宇宙船が光り、黒いゴルビウスに変形する。

ドレイス「まあ、いい機会だ。地球人をコアにした時のテストにな！」

ドレイス機、殴りかかってくる。素早くかわす佳奈子。が、すかさず蹴りを食らって吹っ飛ぶ。

佳奈子「ああっ！」

ドレイス「どうした地球人、ロラン、貴様のデバイスではその程度か！」

攻撃を受け続ける佳奈子。

ロラン「おかしい、これほどの力を出せるとは……。まさか！」

佳奈子「な、何？どうしたの？」

モニターがドレイス機の内部構造を映す。期待中央でカプセルが真っ赤に光っている。

ロラン「やはり、リミッターを解除している……。」

佳奈子「え？」

ロラン「ヤツは出力を最大まで上げるためにご子息のエネルギーをすべて使うつもりです。」

佳奈子「そんな！」

区別がつかない！

ビームとか
ミサイルからたいて
普通

銃の弾は派手なだけ

厚さ不明

「わははははは
地球人の想像力は
なかなかにいいぞ！」

みたいにはみえづかい

ロラン「このままだと5分持ちません。」

ドレイス「わっはっは、流石だよ地球人。これほどの力を発揮してくれるとは！使い捨てにするのが惜しいくらいだ！」

佳奈子「…このッ！」

佳奈子向かっていくがコクピットへの反撃で大きくダメージを受け吐血。

ドレイス「出力テストは済んだ、替えのコアを調達したら、今度はロラン、貴様の故郷の番だ。」

佳奈子機のコックピット内、血が浮遊している。佳奈子うつ伏せで動かない。

ロラン「状況は不利です、一度撤退を。」

佳奈子「ダメよ…早く助けないと秀人が…。」

ロラン「しかしこのままでは」

レバーが壊れていて、モニタに出力データの表示がされている。

佳奈子「約束したの。」

ロラン「約束？」

佳奈子「今度は…ちゃんとやるって！」

叫びながら顔を上げる佳奈子。

佳奈子「ロラン、イメージなんとかのリミッターこつちも外して！」

ロラン「ですがその場合貴女のエネルギーもすべて使い切ってしまうことに…。」

佳奈子「いいわなんでも！早くして！」

ロラン「しかしデバイスのレバー入力システムが破損しています。このままでは…」

佳奈子「（遮って）早くしろッッッ！！」

ロラン「…了解。」

ミラージュバトル機の中
いい加減だ。

この作戦は女だ。な。と

そろそろ血もかんかく。

それだ。ガン。は。ど。う。で。も。い。い。か。
とか。

今。定。延。服。とか。

想。象。の。う。さ。ぎ。し。こ。と。か。より。

う。さ。ぎ。の。機。体。と。る。こ。と。

は。一。番。モ。チ。バ。ー。ニ。ャ。ン。が。あ。る。

理由が氷解する。

つまり、流石は

その程度には心配です。

だって。ヘンな感じですもの。

ドレイス機、剣を構えて突進してくる。

ドレイス「死ね！ロラン！地球人諸共！」

リミッター解除され、佳奈子の体が青白く光り輝く。

佳奈子、中央パネルのスイッチを押し、音声入力に切り替える。

佳奈子「必いつ殺……！」

佳奈子機、剣を実体化させ、構える。

佳奈子「ファイナルソード：クラーアアッ
シュッ！」

佳奈子機、ドレイスを切り裂き、秀人のカプセルを回収する。

○地球、川原、明け方

宇宙からゴルビウスが降りてくる。

その手にはカプセル。

ゴルビウス、カプセルを優しく地面に下ろす。中から秀人が出てくる。

佳奈子もコックピットから降りる。

佳奈子「秀人……！」

秀人、泣きながら佳奈子に抱きつく。

佳奈子、ゆっくり抱きしめる。

ロラン「ありがとう地球人たち。おかげで

ドレイスを倒すことができました。」

佳奈子「ふふ、こちらこそ。おかげで息子を助けることができました。」

佳奈子、深くお辞儀をする。秀人もそれにあらう。

ロラン「……地球人がなぜデバイスであんなに

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

出力を発揮できるのか：わかった気がしま
すよ。あれだけの力を解放しても、消滅す
ることのなかった貴女を見ているとね。」

佳奈子「私はただの…主婦よ。」

秀人を優しく撫でる佳奈子。

ロラン「では、私はこれにて失礼します。」

そう言い残し、ロランは宇宙へと飛び
立っていく。ゴルビウスは光に包まれ
元のおもちゃに戻る。

ロランを見送る二人。

佳奈子「(ぼそりと呟く)…さようなら。」

↑
ママの姿にみるのこれ？

○団地、アパート、リビング

テレビを仲良く観ている三人。

秀人が必殺技の真似をし、佳奈子も
一緒になって真似をしている。

微笑む健一、秀人、佳奈子の三人。

エンドロール

終

これ、母子家庭、ママと子で暮らすかも。
たっとしたうはな子からボットアミに
変いことも何う回遊ないかと。

ママのファイナルソードクランニング、
日曜に向いたよ！。オレ、カペルの中か！
見えたもん！。

「ママ、母親ですか？」

たっしたうはなとせふかも、だわアミ。

母親とよいうた方が
強い。